

平成20年度 第2回
第3期徳山地区地域審議会
会 議 録

日 時：平成20年12月25日（木）

場 所：周南市役所 3階 第6会議室

【会 議 次 第】

1 開会

2 市民憲章唱和

3 あいさつ

4 議事

(1) 新市建設計画の進捗状況に関する意見書(案)について

(2) 今後の審議会の運営について

5 閉会

平成20年度第2回 第3期徳山地区地域審議会 会議録

日 時 平成20年5月14日(水) 午後1時から
場 所 周南市役所 3階 第6会議室
出席者 ・委員 12名 (欠席3名)
藤井 徳男、松村 千昭、重永 つゆ子、石田 睦子、藤井 和美、
山田 好美、福原 和子、中村 俊孝、國富 晃、松原 邦夫、
大寺 和美、清木 寛
・事務局 4名
山下総合政策部長、中村企画課長、原田課長補佐、中村主任
資 料 新市建設計画の進捗状況に関する意見について(案)

会 議 議 事 録

1 開 会

2 市民憲章唱和

(全員で市民憲章を唱和)

3 あいさつ(総合政策部長)

山下総合政策部長 今、日本や世界の経済が、金融経済不況ということで大変な時期を迎えております。周南市も合併をいたしまして5周年を迎え、今年はその記念行事が行われております。10年のスパンで考えますと、ちょうど折り返し地点にきたところでございます。私達は、総合計画の前期計画が21年度まで、後期計画が22年度から26年度までということで、今、後期計画の策定作業を進めているところであります。みなさんには、その一環として、今年5月に新市建設計画の進捗状況の検証をお願いして、いろいろとご意見をいただき、ありがとうございました。

今日は、その意見書のとりまとめということでありますが、どうぞよろしく願いいたします。

4 議 事

(1) 新市建設計画の進捗状況に関する意見書(案)について

議長 まず(1)の新市建設計画の進捗状況に関する意見書(案)について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 《意見書(案)の内容を説明》

会長 ただいまの説明に関して、ご質問はいかがでしょうか。

委員 私はよくまとまっていると思います。

委員 「優先的に実施すべき事業」の安心・安全に関わる事業については、だいたいこの中で審議されてきた内容が書かれていると思います。

市中心部の整備に関わる事業について、徳山駅周辺整備は必要だと思いますけれども、市役所新庁舎建設は、ここで建替えるのか、駅ビルと併せて考えて駅周辺に持っていくのかということを議論したと思います。そうした意見は入らないのですか。

事務局 審議会全体のまとめた意見ということで、新庁舎の建設を意見書に盛り込む必要はあると思いますが、現在の場所か駅周辺かという問題まで踏み込んだ形にはしていません。

また、現在、駅周辺整備につきましては様々な会議で議論がされているところでもありますので、そうした点にも配慮をして今回は入れていないということです。

委員 私たち審議会の意見が一般論で終わったら、審議会は何を審議するのかということになると思うのですが、「例えば」という程度で入れてはどうかということです。

もう1つは、観光施設整備ということで、市中心部を活性化するのに、観光施設整備という視点だけなのか、コンパクトシティということにも配慮しながら、他の大型店舗と差別化して高齢者にスポットを当てたまちづくりをするのかという議論をしたと思います。そのことは入らないのですか。

事務局 あくまで今回は、新市建設計画の進捗状況調査報告に対するご意見を後期基本計画に盛り込むための意見書ということになりますので、そこまでいくと報告とだいぶ離れてしまいます。今後、部会の中でみなさまと議論して提言していくことは十分考えられますけれども、後期基本計画の策定に向けた新市建設計画の検証という観点から、今回の意見書には入れておりません。

委員 この審議会は、何のために審議しているのですか。

事務局 5月に今回の件をお願いして、合併から5年間の事業の進捗状況に対してどうのご意見があるのかということをお聞きしました。商店街の活性化等につきましては、新市建設計画の進捗状況調査がハード事業中心ですので、その+（アルファ）的なものを入れていくのかということこれからみなさんの意見をお聞きしながら、必要であれば入れていくことになります。

委員 これは進捗状況調査報告に対する審議会の意見ということで、今後どうすべきなのかということとはまた別の話ということですか。

事務局 そうということです。今、言われましたことも、もしこの中に入れるということであれば、+ 的な要素として入れていくのは構わないということです。

委員 この間、私はデザイン会議に出席させていただきましたが、デザイン会議では新庁舎を駅周辺に移転するような構想は全く出てきませんでした。単に駅ビルをどうするか、駐車場をどうするか、南北通路をどうするかという問題だけの話し合いであったということです。そういう中で、新庁舎、せめて市民課等の機能だけでも、駅周辺に移

転するという事を考えていただきたいと申し上げました。新庁舎建設問題で一番思うのは、この庁舎の位置にあるのか、将来移動することを考えているのかによって、デザイン会議の方向性が大きく揺れ動くことになるということです。

それから、この間、活断層の問題が出てきました。市は、耐震性をどう考えているのでしょうか。災害の時に情報を集約して機能しなくてはいけない庁舎が解体してしまうのか、それとも今後30年持つのか。庁舎建設の耐震性についてデザイン会議では話がなかったものですから、この点を捉えた意見具申があってもいいのではないかと思います。進捗状況はこれで良いと思いますけれども、「今後、後期基本計画はこういう問題を考えていただきたい」という意見がないといけないと思います。

委員 新市建設計画に盛り込まれているものに限定して、その中のどれを重点的にやるべきなのかということ提言するのですか。

事務局 そうです。それがあくまで主体となって、他のことを付け加えることは可能です。そういうことは、この場で話し合っただけだと思います。

委員 (案の文章の)下(箇条書き)の部分で少し補足をしたらどうですか。

事務局 市役所新庁舎建設のところで、括弧書きの中に「災害、防災拠点としての庁舎の重要性」という言葉を入れておりますけれども、その他に例えば「駅周辺整備と関連して庁舎機能の一部の移転を考えていく」というようなことを補足で入れるということですか。

委員 新庁舎の場所はここで建替えると決定したわけではないのでしょうか。そうであれば、「場所の選定の問題も含めて防災拠点としての新庁舎の建替えを真剣に考えていかなければならない」というような内容を入れたらどうですか。

事務局 庁舎の建替え問題は、2～3年前から、今言われたような観点で、庁内のワーキングで話し合っております。現時点では、庁舎をこういう方向で建替えると言える段階ではありませんが、当然その段階になれば、市民のみなさんには、各候補地の長所・短所について説明責任を果たした上で、最後に建替え場所が決まってくると思います。ワーキングの話をするのはどうかと思いますけれども、必要な駐車場面積や庁舎の延床面積等は全部想定しています。その中で、新庁舎を駅に持っていけるのかという話になりますが、現在地を全部駐車場にして駅まで歩いていくということは現実的ではありません。そこで、駅に立体駐車場がつくるのか、一体どれくらいの面積がいるのか、そうしたら(JRの土地を)どれくらい買わなければいけないのかということの内々では考えております。それはあくまで内部資料であって、市が庁舎を建替えるということを表明して基本構想に入ってくると、全てオープンになります。言われましたように、現在地に新庁舎を建てて駅ビルとは別にするとしても、一番人が集まるところに利便性を増す機能は必要だと思いますので、そういう観点で新庁舎の検討をする必要があると思います。

それから、耐震性については問題だと思っておりますので、総務課としてはなるべく

早く基本構想の策定を予算化していきたいと考えておりますが、まだ予算化できる段階ではありません。実際に庁舎を建替えるということになれば、耐震性の問題というのは解決しますので、それ以上心配する必要はないということになります。

委員 合併した時に、本庁舎があった旧市町の本庁舎が総合支所が変わっていきましたが、その地域は完全に衰退しています。飲食関係、金融関係が壊滅状態です。そういうことを考えると、この庁舎が動くということは、この一帯に相当な経済的変動が起きるということになるわけです。新庁舎建設の方向性が決まらないのに駅周辺の問題を論じて、二重投資が生じてしまう危険性があります。もう少し冷静にそういう問題を考えた上で駅周辺の問題を考えていかないと、ただ駅周辺の問題だけを考えていたのでは、結局建物づくりに終わってしまったということになってしまうと思います。

事務局 私たちの基本的な考え方は、港から駅、庁舎、動物園までの動線をきちんとして、その中で中心市街地の活性化を図っていくということです。ですから、この市役所がどこか全く別の場所に移転するようなことは想定しておりません。

委員 そういうことをしっかり発信しておかないと、市民の間に不安を駆り立てるような気がします。

委員 移転するとしても、徳山駅ビルの中に入れるかどうかという議論だと思います。先程、現在地が駐車場で駅周辺の新庁舎まで歩いて行くのが現実的ではないとお話しされましたが、必ずしもそうとはいえないのではないかと思います。そういうことからすると、この案の中に、「市役所の庁舎の建替え場所も含めて」とか「駅施設の計画と併せて」とか、そういう言葉が入るか入らないかで大きく違うと思います。

事務局 実際には、意見書(案)の市中心部の整備に関する事業のところ、「市中心部の活性化が見込まれることから早期着工が望まれる」とありますので、この3つの事業についてはその範囲であるべきであろうという解釈をしております。そういう趣旨が含まれているということはこの文章から読み取るということです。それをもう少し詳しく書くのかというのは議論していただければと思います。

委員 平成22年度から26年度までの後期基本計画をつくるためにこの意見書があるわけで、案には「早期着工が望ましい」とありますが、早く取り組まないといけないではありませんか。具体的には、駅周辺のデザイン会議の話が出ましたけれども、デザイン会議があり、周南再生戦略会議があり、駅ビル3階には中心市街地整備室があり、市議会の委員会があり、バラバラでやっていたら早期着工といっても進まないのではないですか。動線の話がありましたけれども、そんなことあまり考えていたらできません。22年度から26年度までの後期基本計画に向けた意見を出すのだったら、強い意見を出さないとこの審議会の意味がないと思います。

委員 私もそう思います。ずっと前から駅周辺整備が言われていますけれども、庁舎と一緒に考えて、庁舎に職員が、駅ビルに色々な商店が入ってということになれば、それが活性化につながるということもあると思います。市民も職員もそこで食事や買物が

できます。市中心部の活性化も大事ですが、市役所庁舎も含めた活性化で、一体となったらもっと市そのものが活性化するのではないかと私は思います。

事務局 徳山駅周辺整備事業というのは、ちょっと足踏みをしておりますけれども、平成25年度まで合併をしたことによる合併特例債という非常に優遇措置のある起債があります。駅ビルやその周辺整備については、1つのポイントが平成25年度までにどこまで仕上げるかということで、そのスケジュールに従って動いています。

動物園につきましては、今年度、FS（実現可能性）調査ということで、目標入場者数を30万人から60万人にするということで、リニューアル計画を今から立てていきます。これも有利な財源として特例債をできるだけ使っていくということになります。

唯一踏み込めないのが新庁舎です。新庁舎については、場所云々よりも、資金の問題があります。庁舎を建てる時には、簡単に言うと頭金が必要です。それがなくなるとつくりえないという仕組みになっております。まずその問題を解決することが必要で、資金繰りが解決できそうな時に本当に現在地か駅周辺かということを考える必要が出てくるわけです。しかし、駅はもう進めていかななくてはならないので、庁舎とは独立して進んでいるというのが実情です。

委員 つまり、庁舎を絡めると計画全体が遅れる可能性があるということですね。

事務局 庁舎の一部分の機能を持っていくというのであれば、今のままでも工夫すればできます。庁舎全体ということになると非常に資金問題が難しいということになります。

事務局 新しい庁舎というのは、水道局も含めて考えており、結構な面積が必要になります。今年度で、55年くらい経つこの庁舎の耐震診断の結果が出ます。新市建設計画の中では、庁舎については、「建設する」という表現ではなくて「建設の検討」という表現でした。庁舎は職員のためではなく市民の利便性の向上のためにあるものであると思っていますけれども、（他市町村の）デラックス庁舎に対する世間の逆風があり、旧徳山市はこのままで辛抱していました。そういう流れで、合併後の新市建設計画の中でも「庁舎の建設を検討する」という控えめなものになってはいますが、今回、こうしたご意見をいただいたので、後期基本計画の中では、場所をどこにするのかという問題は別にありますけれども、「市役所新庁舎の建設」ともう一歩踏み込んだ形にしたいと思います。庁舎と同じように古いのが市民館で、ここ（庁舎）と市民館、交流機能を持つ駅ビルを総合的に考えていこうと思っています。

徳山地区地域審議会からは、あれもこれもではなく「選択と集中」という中で、この安心・安全に関わること、市中心部の整備に関わることをピンポイントで指摘していただいた上、新庁舎建設を後期基本計画の中でしっかり位置付けるというご提言だと思っております。

委員 駅周辺整備は、当初7階建て位の大型商業施設と立体駐車場を併設ということでしたが、それはもうないということですか。7階建ての大型店舗を持ってくるくらい

なら、その中に市役所機能が入れば、「このご時勢に豪華な市役所を建てて」というのではなくて、節約という方向で考えているのが市民に伝わると思います。

事務局　みなさんが公共交通機関をしっかりと利用されて、バスや電車で来られるというのであれば、そういうことも可能かもしれませんが、今のように主に車を利用される場合は、駐車場の整備ということを考えていかなければいけないと思います。市役所の場所を変えるということは、動線をどういうようにつくりあげていくかという非常に大きな問題も出てくると思います。

委員　徳山駅には、JR・新幹線・バスというものが集中しているわけですから、人の動きの中心です。そこに行政の拠点があれば、例えば高齢者の方が来るのに非常に便利です。車で来る人の駐車スペースをどの程度確保しなければいけないのかということはありませんけれども、市役所職員は別として、来られる方だけの駐車スペースだったらそんなにいららないのではないかと思います。駅と庁舎を併設したら、動線がそこに集まっていいと思います。

事務局　庁舎そのものは、基本的には今のように分散するべきではないと思います。建設部が新南陽にあったり経済部が港町にあたりというのは、効率が悪いということです。もし民間の大型商業施設が出てくるなら、市が合築するという方法もあったわけです。直接は中心市街地整備室が担当しておりますけれども、その話は今のところ全然出てこないのが無理なのかなと思います。25年度までにできるものは全て実施する必要がありますので、そのスケジュールの下で計画しているのだらうと思います。庁舎を駅周辺に持っていくというのは、資金問題を解決できたとしても、合築して効率的な建物ができるかといえ、それは疑問です。

委員　それでは、案に書いてある徳山駅周辺整備というのは、かなり規模を縮小した内容で、大型店舗を建てることではないということですか。

事務局　それが前提ではないということです。

委員　デザイン会議の時には大型店舗の説明は一切ありませんでした。南北通路と徳山動物園までのゾーンをきちん整備して、その中で市の機能・施設の問題、駐車場の問題、バスを利用して買物ができるような利便性の問題を考えていくということです。

委員　（デザイン会議に出席した）私の感覚では、大型の商業施設はないのではないかと受け取りました。

委員　（デザイン会議では）あまり説明がなく、みんなができる方向を考えていこうというものでした。新幹線が停まる場所で海が見える駅というのは、三原駅とこの徳山駅くらいだと思います。海が見えて山が見えて工場群が見えるというところをもう少し活用した観光スポットを考えていく必要があると思います。

委員　郊外型のロックタウンや防府ロックシティが便利になっているので、駅ビルに大きな施設が来たところでまた集客力が上がるというようには考えられないのではないかと思います。寂しくなった商店街をどうするかというのも非常に難しい問題ですが、

若い人は下松であろうが光であろうが防府であろうがどこでも車で移動できるので、若者を集めるという感覚はどうかかなと疑問に思います。中山間地域は、バスが便数を減らされたりしてお年寄りの移動手段が限られ、子どもは、安心・安全の確保という課題があります。見方を変えて、お年寄りに優しいまち、子どもたちにも優しいまちという方向で考えていく方が良いのではないかと思います。働くお母さんが多かったり、共稼ぎが多かったりということで、子育てに皺寄せがきていると思います。ただ活性化ということではなく誰を対象にするのかという観点から、賑やかなまちにならなくても住み良いまちというコンセプトを持って進めていかないと、若者とか賑やかなまちをつくろうと思っても、そういうこと自体難しくなっていて、建物を建てても活性化にはつながらないと思います。

委員 基本的コンセプトをどうするか、どういうコンセプトでまちづくりを進めるかということとはとても大事なことだと思います。従来は若い人や日用品の買い物客を集めようとしていましたが、それはもう難しいという中で、中心市街地の活性化というのは今言われたような方向ではないかと思います。そういうことをこの案の中に入れてもおかしくはないと思うし、合意が得られれば明確にした方がいいのではないかと思います。

委員 先般、市長のお話で機構改革ということがありました。新年度から部署を統合していくということでした。市長が考えられているのは、所謂スモールガバメント＝小さい政府をつくりながら、コンパクトな行政にしていくというような背景があるのではないかと私は思います。不況になって、新庁舎の問題もそこに問題がでてくるのではないかと思います。

事務局 今回の意見書につきましては、新市建設計画に対するものということがありますが、後期基本計画につきましても、この地域審議会からご意見をいただくことになっております。高齢者福祉や子育て、スモールガバメントといったご意見については、その中で提言していけばいいのではないかと思います。

委員 やっぱり庁舎を1箇所を集めるということは重要なことだと思います。そうすれば、現在の場所です。何十年も前から、こういうことは話し合われてきましたので、今さら覆すのもどうかと思います。

委員 意見書ですが、これは市長に渡すのですか。事務局に渡すのですか。

事務局 市長です。

委員 市長に渡すのであれば、市長にインパクトを与えるようなものにしないといけないと思います。市長が理解をしてくれているかどうかを私たちは判断できない。

委員 後期基本計画の中に入れることができると言われましたけれども、少なくとも今言った内容がこの表現に出ていない。市長に伝わらないのではないかと思います。

委員 多少、後期基本計画にもそういう考え方を持ってもらいたい。進捗状況についてはこれで良いと思います。

事務局 進捗状況に関しての意見ですので、「進捗状況はこうであったのだけれども、

後期基本計画にしっかり生かしていただきたい」、「基本方針に基づいて、後期基本計画の中で新市建設計画を再構成し、新市のまちづくりを確実に推進されますようお願いしたい」ということです。

委員 私たちの意見がはっきりした方がいいのではないのでしょうか。

事務局 この案につきましては、これまで2回の会合で意見をお聞きした中で、私たちがそれを理解したつもりで書いたもので、今言われるようにこの点が足りないというのであれば、それはこの中に入れていただいて構いません。

事務局 特に市長の考え方は、「あれもこれも」ではなくて、「選択と集中」の中で、きちんと1、2、3というように地域審議会から優先順位を出していただきたいということであると理解しております。

委員 従来の方ではなくて、少し違ったコンセプトで中心市街地の活性化をしなくてはいけないのではないかとということです。

事務局 それにつきましては、また別に部会があり、通常地域審議会の役割の中で、市長に対して意見を述べることができます。中心市街地であれば、例えばコンパクトシティというものを想定して、お年寄りに優しいまち・住み良いまちを目指して中心市街地を活性化してほしいということも言えます。子育てであれば、これまで話し合われた内容をもっと具体的に詰めていって意見書として出すことになります。それに対して市は回答することになります。また、後期基本計画の策定過程でも、みなさんから意見をいただくことになります。

委員 今回の意見書の中に一言でも入っていれば、方向性として予告ができると思います。唐突に出しても今までと同じで新しいものはありません。

事務局 もちろんこの文章を入れた方がいいというご意見であれば入れます。

会長 希望として「特にこういう問題をご検討いただきたい」というものを明確化しておく方がいいのではないかと思いますけれども、みなさまいかがでしょうか。

全委員 （同意）

会長 では、そういう方向で内容を付け足していただければと思います。

事務局 今の内容につきましては、会長とご相談させていただいて内容を付け加えるということによろしいでしょうか。

全委員 （同意）

事務局 徳山地区地域審議会につきましては、ソフト事業中心のまちづくりという観点や、「選択と集中」という中での優先順位がきちんと盛り込まれていて、非常に感謝をしております。

会長 周南市の展望やビジョンをきちんと表してくださらないと、駅や庁舎の問題でも、単発的な会議ばかりをすることになります。そして、誰よりも周南市民が、自分の地域を自慢できて「ここに住んでよかった」と思えるようなまちづくりという発想に転換してもらわないといけないのではないかと思います。

それでは、以上のような内容でよろしいですか。

全委員 （同意）

会長 それでは、今後の審議会の進め方やスケジュールについて説明をお願いします。

事務局 《事務局から今後の進め方等について説明した後、意見交換》

会長 確認しておきますけれども、この案にプラスして先程出た意見をより良くまとめていただいて、明日市長に提出することになります。

5 閉 会